

長崎大学文教キャンパスへのアクセス



JRをご利用の場合

JR長崎本線「浦上駅」下車、その後、以下の路面電車もしくはバス利用

■浦上駅から路面電車をご利用の場合

「浦上駅前」から「赤迫(あかさこ)」行き乗車
「長崎大学」で下車(所要時間 / 約10分) 料金130円

■浦上駅からバスをご利用の場合

「浦上駅前」から長崎バス1番系統「満川」・「上床」・「上横尾」行き乗車
「長崎大学前」で下車(所要時間 / 約10分) 料金160円



高速バスをご利用の場合

各地より浦上経由長崎方面行きバスに乗り、「昭和町(しょうわまち)」で下車、その後、徒歩で長崎大学東門まで約15分あるいは長崎大学正門まで約20分



航空機をご利用の場合

長崎空港(大村市)4番乗り場から空港リムジンバス乗車
片道1,000円

■長崎県営バス「試験場前・諫早インター・浦上経由 長崎駅前」行き乗車
「長大東門前(ちょうだいひがしもんまえ)」で下車(所要時間 / 約40分)

■長崎県営バス「試験場前・諫早インター・浦上経由 住吉経由 長崎駅前」行き乗車
「長崎大学前」で下車(所要時間 / 約45分)

長崎大学
多文化社会学部
スマホサイトへ



多文化社会学部
公式
YouTube



SCHOOL OF GLOBAL HUMANITIES AND SOCIAL SCIENCES

The School of Global Humanities and Social Sciences at Nagasaki University was established in 2014 to train individuals to acquire the skills, judgment, sensitivity and ability to take action as independent people who can survive globalization in the world of today.



国立大学法人
長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

多文化社会学部

2021



地域の視点から世界を俯瞰し、 グローバルな視点から地域を考える、 人間性豊かな人材を育成します。

育成する人材像

グローバル化する世界において、人文社会系諸分野の幅広い知識を基礎として、社会的・文化的・言語的多様性の観点から、その意義を理解できる。

英語を中心とした高度な外国語運用能力を有し、グローバル化する世界の多文化状況において、円滑にコミュニケーションおよびプレゼンテーションを遂行できる。

多文化社会が抱える様々な課題や現象について、適切なデータ・史資料の収集・分析、課題の発見・整理、調査の企画や実行を行うことができる。

多様な人々と共生的な関係を築き、問題解決に向けて、パートナーシップやリーダーシップを発揮して行動できる。

学ぶ楽しさを学ぶ

長崎大学多文化社会学部は、グローバル化する現代世界を生き抜く責任ある自由人としての素養と判断力、感性、行動力をもった人材を育成するために2014年に開設されました。

私が考える多文化社会学部の教育の使命は、(1) 真の意味でのリベラルアーツliberal arts、(2) 国際共通語としての英語コミュニケーション能力、(3) 各教員の専門の人文社会科学、(4) 未来のためのビジネス・スキルの4領域の教育を通して有為な人材を育成することです。

リベラルアーツは、「liberalis 自由人にふさわしいArs/Artes技術・学術」のことで、ギリシャ・ローマ時代の自由な市民が市民活動に参加するための言語に関する三学trivium(文法、論理、修辞)と、数に関連した四科quadrivium(算術、幾何、音楽、天文学)からなる素養です。知識伝達型の専門教育とは異なり、学問分野を越えて共通に求められる知識や技法を習得させ、多面的・自主的・総合的に思考し、判断する能力を培います。米国のハーバード大学もリベラルアーツの小規模大学からスタートしました。リベラルアーツ教育の特徴は、教員、職

員、学生の距離が近く、指導が行き届くことです。長崎大学・多文化社会学部も、教員、職員、学生の一体感のある仲が良い学部になりたいと思っています。

グローバル化された社会では、国際共通語としての英語コミュニケーション能力も重要になります。各教員が専門とする学問分野に取り組みながら、リベラルアーツやコミュニケーション能力を身につけていきます。専門性を深めたい人には大学院(博士前期課程・後期課程)に進む道が設けられています。これらの素養をもって、社会に貢献するためには、現代社会を生きぬくビジネス・スキルが必要になります。これもリベラルアーツと表裏一体をなすものだと考えています。

リベラルアーツは謙虚になるための学問だと思えます。真摯に勉強することによって、自由で謙虚な社会の構成員になり、多様な人々の多様な意見を尊重しながら社会に貢献することができるのです。

多文化社会学部は学生にも教員にもそういう場を提供します。

皆さんの学生生活が実り多いものになることを願っています。



学部長 門司和彦

1953年東京生まれ。東京大学医学部保健学科卒業。保健学博士。東京大学助手、長崎大学医学部助教授、同・熱帯医学研究所教授、総合地球環境学研究所教授等を経て2014年より多文化社会学部教授。2015年より熱帯医学・グローバルヘルス研究科教授を兼務

専門は、人類生態学、エコヘルス研究。ケニア、ラオス等でのフィールドワークによる人口転換と健康転換の研究に従事。



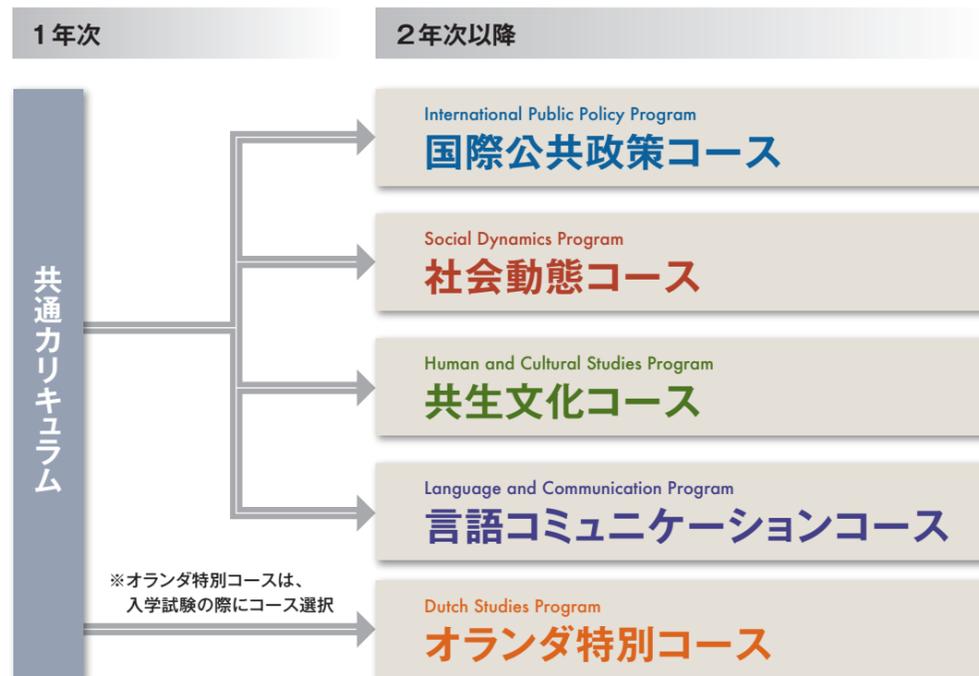
「ローカル」から「グローバル」を目指す

世界を学びのステージにする

特色ある5つのコース

国際社会が抱える様々な課題を分析する国際公共政策コース、人・モノの動きから世の中をとらえる社会動態コース、多様な文化の理解から共生を考える共生文化コース、適切な言語運用の力を身につける言語コミュニケーションコース、そして、オランダを切り口に現代の欧州を学ぶオランダ特別コースの5コースで構成されています。自分が学びたいコースに進み、目標に向かってチャレンジしてください。

国際公共政策コース、社会動態コース、共生文化コース及び言語コミュニケーションコースについては、1年次終了時にコースを決定します。



取得できる免許・資格

高等学校教諭一種免許状(英語)	言語コミュニケーションコースの学生に限り、教育職員免許状取得に必要な科目の単位を全て修得することで、卒業時に「高等学校教諭一種免許状(英語)」を取得することができます。ただし、3年次以降に中長期留学を行う場合、4年卒業での免許状の取得ができません(5年卒業)。
日本語教員基礎資格	多文化社会学部で開講される日本語教員基礎資格科目を履修し、所定の単位数を取得した学生に対して「日本語教員基礎資格」を認定し、卒業時に日本語教員養成プログラムの修了証を交付します。この資格は、どのコースの学生でも取得可能ですが、言語コミュニケーションコースを選択した場合、最も円滑に取得できます。

Visit our website for details



沖縄県営平和祈念公園にて



唐人屋敷跡にて

International Public Policy Program

国際公共政策コース

国際社会で発生する様々な課題に政治学・法学・経済学などを通して取り組む

現代世界には、紛争や軍縮、人権侵害、貧困や開発、法の支配、保健・衛生など、国境を越えた複雑な政策課題がふれています。これらの難問の解決に挑む、グローバルな知識と実践的能力を備えた人材を育成します。

Student's Voice



理論を身近な交流と繋げて自分なりの考え方を構築
坂井 絢香 4年
佐賀県立佐賀北高校 出身

もともと国際社会や多様性というテーマに関心があり、1年次に様々なテーマの講義を体験する中で、学んだ理論を実際の社会の出来事から考えられる国際公共政策コースを選びました。「国際人権論」という講義では、現在の国際情勢をテーマに議論します。同じ理論を学んだ学生同士でも、それぞれ解釈や意見が異なることがあり、様々な意見に触れることで自分の考えも磨かれたと思います。また、私は以前から日韓関係に興味があり、長期休暇のたびに学生交流プログラムやフォーラムに参加して韓国を訪れていました。現地の大学を訪問して学生と交流する機会があり、日韓関係に対する同世代のリアルな意見を聞く貴重な経験となりました。こうした興味のあるテーマに、講義で学んだ理論を落とし込んで考えられるので、自然と勉強に対する意欲も湧いてきます。

卒業論文では、日韓の姉妹都市交流について研究する予定です。国同士や個人の交流とは異なる関係性だからこそ、果たせる役割や可能性があるのではないかと考えています。

Social Dynamics Program

社会動態コース

現代社会のダイナミズムを社会学・文化人類学・歴史学などの知見を深めて読み解く

グローバル化した世界では、ある場所で発生した小さな変化が遠く離れた場所で思いもよらぬ影響を及ぼすことがあります。このようなダイナミズム(動態)を、主にフィールドワークを通して読み解く能力を身につけます。

Student's Voice



横断的な知識を学び新たな発見と出会う
伊藤 優花 4年
学校法人筑紫女学園 出身

知識を得るだけでなく、フィールドワークの中でその知識を活用し、新たな発見を得られる社会動態コース。なんでも経験しながら学びたい自分に向いていると考えて、このコースを選びました。講義は社会学を中心に、異文化共生やメディアから、原爆などの長崎に関するテーマまで幅広く、様々な分野の知識を得ることができます。そして学んだ知識を、フィールドワークやディベートを通してアウトプットしながら深めていきます。2年次に参加した「フィールドワーク実習」では長崎県西海市の雪浦に足を運び、フィールドワークの基礎や古民家再生の知識を身につけました。

社会動態コースでの学びは、自分の生活や身近なものに対する気づきを与えてくれます。こうした新たな視点を持つことで、3年次の中長期留学がより充実した内容となりました。卒業論文のテーマは、ドイツにおける人権とアジア人差別です。これまで学んできたインタビューやアンケート調査の手法を取り入れながら進めていきます。



日本二十六聖人記念館にて



Language and Communication Program 言語コミュニケーションコース

言語の個別性と普遍性および
言語と文化の関わりを
言語学の諸分野を通して幅広く学ぶ

英語・日本語を中心とした言語学、言語教育、コミュニケーション論を通じて、多文化社会における言語の個別性と普遍性および言語と文化の関わりを実践的に学びます。

Student's Voice



間違いを恐れず会話して
ツールとしての英語を学ぶ

平山 立夏子 4年

石川県立金沢二水高等学校 出身

高校のESS部で演劇やディベートに取り組んだ経験があり、大学ではもっと実践的な英語力を高めたいという気持ちで多文化社会学部に進学。指導も論文もすべて英語で進める先生方のゼミへの興味がきっかけとなり、言語コミュニケーションコースを選びました。言語学の講義はもちろん、実践的にディベートを学ぶ機会などが充実しています。

「日本語学」では、普段当たり前のように使っている日本語の成り立ちを学んだり、「異文化コミュニケーション」では、一枚の写真でも国により異なる捉え方の事例の分析をしたりするなど、様々な国の人と交流する上で役立つ知識が身につきました。

高校までの英語はテスト重視という印象で、間違いのない英語を心がけていました。それが大学では、英語はコミュニケーションツールであり、間違いを恐れず積極的に話そうと考えるようになりました。卒業後は、商社の渉外担当としての就職が決まっています。今後は英語力を高めていって、自分自身の審美眼を磨きたいです。



史跡「出島和蘭商館跡」にて

Dutch Studies Program オランダ特別コース

オランダ語文化圏の理解を通して
世界・ヨーロッパ・日本
などについて多面的に学ぶ

オランダ語文化圏について、人文社会科学の様々な角度から学ぶ日本に唯一のコースです。オランダを出発点にヨーロッパや世界の状況、日本との関わりについて学ぶことで、国際的な視野を持った人材を育成します。

Student's Voice



語学や文化、歴史を通して
総合的にオランダを理解

米川 マリア 4年

長野県飯田風越高等学校 出身

「アンネの日記」がきっかけでオランダに興味を持ち、高校生の頃に約1年間留学しました。日本とは全く違う環境で過ごした経験から、もっとオランダについて深く学びたいと考えた私にとって、多文化社会学部のオランダ特別コースは希望通りでした。ライデン大学への留学という目標に向けて、ほとんどの専門科目が英語で行われ、さらにアカデミックな英語のレポートの書き方を一から学びます。また言語はもちろん、オランダの文化や歴史についても事前に理解を深められるので、留学後の講義にもスムーズに対応することができました。

ライデン大学ではオランダ語の講義に加えて、オランダの映画や絵画を通して現実の社会問題を読み解き、学生同士でディスカッションする講義もあり、様々な視点から日本と比較して分析することができます。卒業論文では、日本とオランダの学校教育を比較しながら、いじめや差別の問題をテーマにする予定です。今後は語学力だけではなく、文化を理解する力も養い、将来的には両国を繋げる仕事に就きたいと思っています。



Leiden University

ライデン大学

オランダ特別コースの学生は、長崎でオランダの言語、文化、歴史などを学びます。その後、3年次後期から1年間ライデン大学への長期留学が必須となり、そこでさらに専門性を深めます。留学先では、オランダ語の学修および学生の関心と将来計画に即した講義を受講し、グローバルに通用する専門知識と技能を身につけることができます。

ライデンは、オランダ南ホラント州にあるオランダ随一の大学都市です。レンブラントを輩出したことで知られるほか、シーボルトのコレクションを展示した日本博物館が所在するなど文化的刺激にあふれる街です。

ライデン大学はオランダで最も古い大学であり(1575年設立)、デカルトやスピノザ、アインシュタインなど数多くの著名な学者が本大学で勉学や研究を行ってきました(ノーベル賞受賞者16名)。特に、人文社会科学の分野で、現在でも世界的に非常に高い評価を受けています(THE世界大学ランキング2021 人文科学22位、社会科学37位、法学24位)。また、シーボルトの貢献によって世界で最初に日本学科が設立された大学でもあり、日本研究ではヨーロッパ屈指の歴史と研究実績を誇っています。



多文化社会学部の学びのシステム

語学力を徹底的に強化し、人文社会系諸分野を「多文化社会」の観点から再編・統合した学際性に富むカリキュラム

学びの領域	1年次 世界で生起している様々な問題を読み解くための、 多文化社会学の入門的知識を幅広く学びます。	2年次 各専門分野の基礎を領域横断的に学びつつ、 関心を絞り込んで卒業までの学びをデザインします。	3年次 専門分野の理解を深めると同時に関連分野へ視野を広め、 卒業研究のための基礎を固めます。	4年次 入学からの学びの集大成として、 自ら設定した卒業研究のテーマに取り組みます。
<p>多文化社会について学ぶ</p> <p>多文化社会を理解するための知識を、入門・基礎・専門の講義を通して段階的に学びます。</p>	<p>短期留学</p> <p>入門講義</p> <p>多文化社会学の諸問題I(社会) 多文化社会学の諸問題II(人文) 国際公共政策入門(政治) 国際公共政策入門(法) 国際公共政策入門(経済) 社会学入門 人類学・民俗学入門 歴史学入門 文化研究入門 思想・宗教研究入門 言語コミュニケーション入門</p>	<p>基礎講義</p> <p>軍縮論 国際関係基礎(政治史) 国際関係基礎(政治思想) ジェンダーと人権 国際法 ミクロ経済学 国際社会学基礎 地域社会学基礎 家族社会学基礎 教育社会学基礎 歴史社会学基礎 文化人類学基礎(観光) 文化人類学基礎(民族誌) 文化人類学基礎(生態・社会) 文化人類学基礎(民俗学) 文化人類学基礎(移民) 歴史学基礎(日本) 歴史学基礎(ヨーロッパ) 歴史学基礎(文化交流)</p> <p>歴史学基礎(考古学) 思想史基礎(ヨーロッパ) 思想史基礎(中国) 宗教学基礎 文化研究基礎(表象) 文化研究基礎(メディア) 言語学基礎A 言語学基礎B 英語の発想と表現A 英語の発想と表現B 日本語学基礎A 日本語学基礎B 日本語教育学概論</p> <p>計量経済学 アジア経済論 オランダ現代社会論</p>	<p>中長期留学</p> <p>専門講義</p> <p>国際機構論 平和学 EU法 国際政治学 比較政治学 国際経営論 開発経済学 国際人権論 グローバルヘルス アジア経済論 多文化マーケティング論 国際社会学 異文化理解教育 トランスナショナルリティ論 異文化と家族 現代アフリカ社会論 現代アジア社会論 陶磁考古学 グローバル文化交流史 社会史</p> <p>異文化交流論 文化資源論 地域生態論 思想史 中国思想史 宗教文化論 記憶文化論 文化表象論 映画論 メディア・スタディーズ 地域史料論 アメリカ文学論 異文化間コミュニケーション 英語音声のしくみと働き 英米文学概論 応用言語学 認知言語学 コーパス言語学 対照言語学(日英) 対照言語学(日中) 第二言語習得論 日本語学</p> <p>日蘭比較文化 オランダ文化論</p>	<p>卒業研究</p> <p>ライデン 大学留学</p> <p>特別研究</p>
<p>キャリアについて学ぶ</p> <p>キャリアに関する理論的知識や実践的能力を身につけ、インターンシップや企業研究も併せて実施します。</p>	<p>キャリア科目</p> <p>グローバルキャリア入門</p>	<p>自主企画インターンシップ 企業研究</p>	<p>キャリア形成論</p>	
<p>実践的な調査研究手法を学ぶ</p> <p>自ら設定した学術的問いに対して、研究計画に基づき調査・分析・発表・議論する方法を学びます。</p>	<p>演習科目</p> <p>初年次セミナー</p> <p>リサーチ科目、フィールドワーク</p> <p>リサーチ入門</p>	<p>基礎演習I 基礎演習II</p> <p>リサーチ基礎(インタビュー、参与観察) リサーチ基礎(サーベイ) リサーチ基礎(アーカイブ) 外国語文献講読</p> <p>リサーチ基礎(表象) リサーチ基礎(映像)</p>	<p>専門演習I 専門演習II</p> <p>フィールドワーク実習(海外/国内)</p>	
<p>外国語コミュニケーションを学ぶ</p> <p>外国語のしくみ、発音法、リーディング、ライティング、ディスカッション、ディベートなどを学びます。</p>	<p>英語モジュール</p> <p>Study Abroad and Presentation Reading and Writing I 英語のしくみと意味 I Reading and Discussion I</p> <p>総合英語I 英語コミュニケーションI 総合英語II 英語コミュニケーションII</p> <p>中国語モジュール</p> <p>オランダ語モジュール</p> <p>オランダ語I オランダ語II</p> <p>初習外国語I 初習外国語II</p>	<p>英語のしくみと意味II Reading and Writing II</p> <p>Academic Writing I</p> <p>総合英語III 英語コミュニケーションIII</p> <p>中国語総合表現I 中国語総合表現II</p> <p>オランダ語III オランダ語IV</p> <p>初習外国語III 初習外国語IV</p>	<p>Academic Writing II Reading and Discussion II</p> <p>Debate</p> <p>中国語文献討論I 中国語文献討論II</p> <p>オランダ語V</p>	<p>中国語プレゼンテーション</p>
<p>幅広い知識と技法を学ぶ</p> <p>様々な教養基礎科目・自由選択科目を通して、多文化社会を生きるための幅広い見識と技術を身につけます。</p>	<p>ミュージアム・講演ラリー 大使館連続講義 情報基礎 キャリア入門 データサイエンス概論 プラネターヘルス入門</p> <p>ジャーナリズム論I-II 寄附講座:アジア共同体講座 教養モジュールI 健康科学 統計学概論 教養選択科目</p>	<p>教養モジュールII</p>		

※科目名称及び科目の開講時期は変更となる場合があります。

赤字=教養教育科目

高い語学力は学びの軸であるとともに 多文化社会で活躍するための大切なツール

多文化社会学部では、ビジネス、学術、国際関係など現代社会のそれぞれの分野でグローバル人材として活躍するための不可欠なツールとして、語学力を重要視しています。とりわけ英語力の徹底強化を目的に、系統的で集中した英語力養成プログラムを実施しています。専門知識の習得と同時に、グローバルな多文化社会で活躍するためのスキルとしての「高度な語学力」、「コミュニケーション能力」の獲得を目指すことが、多文化社会学部のプログラムの大きな特徴です。また、英語のほかにも中国語及びオランダ語モジュールを開設しています。

英語力養成プログラム

多文化社会学部では英語力強化に向けて段階的に目標値を設定した、英語力養成プログラムを実践しています。目標達成のために、短期留学、中長期留学の推奨(オランダ特別コースは必修)、基礎・専門講義科目(一部)の英語での開講、定期的なTOEFL ITP及びIELTSの実施等に取り組んでいます(TOEFL ITPの受験料は学部負担の制度あり)。また、IELTSは学内でも定期的に実施。

英語科目16科目

(1年次)8科目	(2年次)5科目	(3年次)3科目
Study Abroad and Presentation Reading and Writing I Reading and Discussion I 英語のしくみと意味I 英語コミュニケーションI、II 総合英語I、II	Academic Writing I 英語のしくみと意味II Reading and Writing II 英語コミュニケーションIII 総合英語III	Academic Writing II Reading and Discussion II Debate

中国語モジュール及びオランダ語モジュール

中国語モジュール

世界で必要性が増している中国語。最終的には中国語によるプレゼンテーションができるレベルの力を身につけます。

(科目名)5科目
中国語総合表現I、II
中国語文献討論I、II
中国語プレゼンテーション

オランダ語モジュール

オランダ特別コースの学生は必修。初級レベルの文法から長文読解や作文にも取り組み、ライデン大学への長期留学に備えます。

(科目名)5科目
オランダ語I、II、III、IV、V

Student's Voice

英語を深く学び、使いこなすためのサポートが充実



今田 海音 2年
徳島県立徳島北高等学校 出身

高校では国際英語科を選択し、英語のプレゼンや会話に力を入れていました。大学ではアカデミックな英語を一から学びたいという気持ちで、多文化社会学部に入学。実際に高校までの英語との違いを感じました。「英語のしくみと意味」という講義では、これまで単に暗記していた構文にもきちんと理由があることを教わり、単語一つの意味から深く学んできました。また英語のレポート作成では、先生方の丁寧なフィードバックがあり、改善点を具体的に理解できます。もちろん英会話を実践する講義も充実しているので、仕組みや成り立ちを把握した上で、会話に活かすことができます。

高校までは採点される科目の一つとして英語を捉えていましたが、大学ではコミュニケーションするための英語という印象が強く、言葉としての幅が大きく広がったように感じます。TOEFLやIELTSといった留学に必要な英語試験対策の講義やサポートも手厚いので、今後の中長期留学に向けて積極的に学んでいきます。

英語力のトレーニング



英語カフェ 実践的に生きた英語を鍛えるコミュニケーションプログラム

多文化社会学部では、実践的かつ生きた英語力を培うべく、授業とは独立した「英語カフェ」を多文化ラウンジで毎日開催しています。学術面や留学で活用できる英語力を養成するために、英語学習を継続的に実践することを最大の目的にしていますが、コミュニケーション主体のカフェや人文社会学分野の様々なトピックを扱うカフェ等を実施しています。プログラムは、定期的に変更されますが、自分の興味・関心に沿って選択でき、参加回数に上限もありません。主として1年生を対象にしていますが、2年生以上も参加できます。コミュニケーション能力向上を目的とした英語カフェを中心に据えつつ、4技能試験での高得点の取得や中長期留学等への参加を見据え、英語で批判的・論理的に考え、意見を述べる力を向上させることを目的としたアドバンス・カフェ、中長期留学や留学生活についての情報提供を行う国際交流カフェを開催しています。英語力の向上は、日々のたゆみない実践と努力の積み重ねがあってこそなのですが、英語カフェに参加することで、楽しみながら発信力を鍛え、真の英語力を身につけることができます。

	2021年度【前期】 1年次生英語学習プログラム時間割				
	月	火	水	木	金
1校時			Advanced Café		
2校時			English Café		Advanced Café
3校時					
4校時		English Café		English Café	English Café
5校時	Advanced Café			Advanced Café	

カフェラインナップ

- ◆英語カフェ
- ◆アドバンス・カフェ
- ◆国際交流カフェ(不定期で実施)

※英語カフェ(English Café)もアドバンス・カフェ(Advanced Café)も基本的に全学年対象

多文化ラウンジ

フリースペースを活用して語学力アップ!

多文化社会学部の学生全員が自由に使えるスペースで、学生同士、あるいは、留学生や教員との交流の場として活用できます。



学生同士でスピーキングの練習をしたり、留学生と英会話をしたりすることで、語学力向上のための実践的な活動を行うことができます。

IELTS/TOEFL iBT 対策サポート

4技能の検定試験を見据えた個別指導

中長期留学を行うためには、4技能の検定試験であるIELTS又はTOEFL iBTにおいて規定のスコアを取得する必要があります。4技能の検定試験において個人での対策が難しいのは、スピーキングとライティングです。上記の英語カフェに定期的に参加していることを条件に、IELTS/TOEFL iBT対策サポートを受けることができます。IELTSやTOEFL iBTで高得点を取得している講師陣によるスピーキングとライティングに関する個別指導が受けられます(予約制)。

多文化図書室

英語学習に関するたくさんの書籍

大学図書館とは別に、学部独自の図書室を設けています。IELTSやTOEFLを中心にした検定試験関係の書籍や英英辞書、Graded Readersを中心にした多読用の書籍を借りることができます。特に、検定試験については、公式問題集を中心に、毎年、最新版の問題集を入れていきますので、実際の検定試験問題に何回も取り組むことができます。



ライティング・センター

英語の学術的文章を書くためのサポート

卒業論文、修士論文、博士論文、学会発表の原稿や要旨、学術誌や紀要に投稿する論文等、学生が執筆した学術的英語論文を対象に指導員が一对一で指導を行います。ライティング・センターにおける指導では、文法や語彙選択の間違い等の細かい添削を行う、いわゆるネイティブ・チェックは行いません。読者に説得力のある論を提示するために、論理や構成、スタイル面で英語論文をどのように改善できるかということに重点を置きます。何を読者に伝えたいか、どのように根拠を示して主張を述べれば的確に伝わるかについて論理的に考え、より良い論文にできるように支援します。

異文化への理解を深めるために留学を推奨している長崎大学。そのなかでも多文化社会学部では、短期・中長期留学やフィールドワーク実習（海外）等、さまざまな形で海外で学ぶプログラムを設定しています。英語をはじめとする語学力の向上を目指すだけでなく、世界を舞台に多文化社会学の専門性を深めることを目的としています。

短期留学

※2020年度は新型コロナウイルスの影響で実施されませんでした。
ただし、代替プログラムとしてキール大学（英国）のオンライン短期英語研修を実施

Visit our website for details



多文化社会学部では、英語能力の向上と異文化交流への関心を高めることを目的に、夏季（9月）又は春季（3月）の4週間程度、ホームステイや現地学生との交流を経験しながら、海外大学との連携に基づくプログラムを提供します。

留学前には複数回のオリエンテーションを開催し、現地の事情を学び、安全についての意識を身につけます。過去に実施した短期留学では教職員が旅程の一部を引率して留学生生活をサポートしました。短期留学は、所定の条件を満たすプログラムに参加した場合、長崎大学の教養教育科目の一部である外国語科目として単位認定ができます。

過去の実績は次のとおりです。プログラムの内容および奨学金の給付額は変更する可能性があります。

◆留学先地域、大学及び時期について（過去7年間の実績）

地域	時期	時期	
アメリカ	カリフォルニア州立大学モントレー校	夏季 (9月)	
	ジェームスタウンコミュニティカレッジ		
	ナショナル大学		
	ミシガン州立大学		
カナダ	ウィニペグ大学		
	カルガリー大学		
	ニューファンドランドメモリアル大学		
	マニトバ大学		
オーストラリア	レスブリッジ大学	春季 (3月)	
	エディスコーク大学		
	クイーンズランド工科大学		
	サザンクロス大学		
イギリス	キール大学		ハイランド&アイランド大学パース校

◆プログラム参加費用（実績） 約35～50万円

エコミークラス利用往復航空券、航空保険料・燃油費、日本・現地空港諸税、現地空港～大学の往復送迎費、宿泊費、授業料・研修費、食費（一部）

※その他、個人で負担・支払いをする費用（一部を例示します）：超過手荷物料金、海外旅行保険、長崎又は福岡空港までの往復交通費、その他個人的生活諸費用

◆留学奨学金（給付型2019年度までの実績）

13万円（アメリカ、カナダ、イギリス）

12万円（オーストラリア）

※学業成績や家計の所得を踏まえて給付します。

フィールドワーク実習（海外）

※2020年度は新型コロナウイルスの影響で実施されませんでした。

フィールドワーク実習（海外）では、アジアやアフリカなどからフィールドを選定し、他者と出会い、相互作用する中で、グローバル時代の社会人として必要な実証と理論の力を高め、同時に多分野横断的な学びを実現することができます。平成28～29年度はタンザニアのザンジバルで、平成30年度は台湾でフィールドワークを実施しました。

Message

現地の暮らしに入り込んで、台湾の妖怪文化を聞き取り調査

山下 茉莉花 3期生 愛知県立昭和高等学校 出身 実習地：台湾

3年次の海外フィールドワーク実習では、台湾の高雄に約2週間滞在しました。もともとゼミで民俗学を学んでいたこともあり、台湾における妖怪について、現地で聞き取り調査を行いたいと思ったことが参加した理由です。日本では空想のキャラクターとして扱われることも多い妖怪ですが、台湾の大学生やその家族に聞いてみると、多くの人が身近に存在するものと捉えていました。また同じ妖怪でも、人によってイメージする姿が異なったのも印象的な点です。さらに台湾では宗教が生活の一部になっていて、大学生でもお寺の作法を当たり前のように説明してくれました。そうした宗教的な文化や歴史も、台湾での妖怪の捉え方に影響を与えていると考えられます。

見知らぬ海外で自分の五感を駆使するフィールドワークは、とても貴重な経験になりました。卒業後は大学院でさらに民俗学の研究を深める予定なので、この経験を活かした、発展的な聞き取り調査を行いたいと思います。

期間：約2週間、宿泊先：ホテル、ホームステイ、奨学金：JASSO（6万円）、支出：約10万円



台湾の博物館で妖怪に関する展示があり、リクエストして訪問。現地での行程は学生の調査内容によって異なりましたが、減多にない機会なので、お寺や博物館などいろんな場所に足を運びました。

Message

異なる文化を繋ぐ架け橋となる英語力

伊禮門 大 3年 沖縄県立開邦高等学校 出身 留学先：カナダ／ウィニペグ大学

充実した留学プログラムと海外からの留学生数の多さに魅力を感じて多文化社会学部を選んだので、1年次の短期留学はとても楽しみでした。現地の大学では一方的に教わる座学ではなく、英語でのディスカッションが講義の中心でした。扱うテーマは、カナダでは合法化されている大麻の是非についてや、移民・人種差別についてなど、日本ではあまり身近ではない内容が中心でとても新鮮に感じました。

ホームステイ先には受け入れてくださるカナダ人の方だけではなく、韓国からの留学生も滞在していました。そうした環境で日常的に英語でコミュニケーションを重ねると、文化や背景が違っても同じ言語ならこんなに喋ることができるんだと、自分の世界が広がったように感じました。こうした経験から英語学習への意欲が増して、帰国後も講義の中で積極的に発言したり、留学生とも進んで会話してコミュニケーション力を磨いてきました。今後は中長期留学にも参加して、もっといろんな文化を体感して学びたいと思います。

Weekly schedule

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday	Sunday
8:30-11:20 workshop	8:30-11:15 Morning class	8:30-11:20 Morning class	8:30-11:15 Morning class	8:30-11:20 Morning class	Free	Free
12:30-14:20 workshop	13:00-14:15 workshop	12:30-14:20 Workshop	13:00-14:15 workshop	12:45-18:00 Amaze in Corn		
Free	Free	14:30-17:30 Canadian Museum for Human Rights	Free	Free		

期間：約3週間、宿泊先：ホームステイ、奨学金：JASSO及び多文化社会学部短期留学奨学金（13万円）、支出：約41万円



アクティビティが用意されていて、その内の1つとして、カナダ人権博物館にみんなで行ったときに撮ったものです。（右下が伊禮門さん）



授業と関連した場所にも多数足を運びました。写真は友人達とマニトバ州議事堂の前で、撮ったものです。写真を撮ってくれた友達が面白く、みんな楽しそうに笑っています。

海外インターンシップ

※2020年度は新型コロナウイルスの影響で実施されませんでした。

多文化社会学部では、国内インターンシップの支援のほか、学部独自の英語圏・非英語圏双方の海外インターンシッププログラムを提供しています。英語と現地語を実際に使用しながらの海外現地生活を体験し、多様な文化と人々との触れ合いにより、グローバル社会を生き抜くための経験的知識の獲得を目指します。平成30年度は、ハワイ、カンボジア、フィリピン、ラオス、ミャンマーでインターンシップを実施しました。

Message

国ごとに異なる歴史観を伝える側から学ぶ

平塚 啓汰 4年 福岡県立嘉穂高等学校 出身 インターンシップ先：アメリカ／パールハーバーナショナルメモリアル

インターンシップ先のパールハーバーナショナルメモリアル（アリゾナ記念館）は、真珠湾攻撃や第二次世界大戦に関する資料を展示している博物館です。午前中は来館者の受付や案内を行い、午後は英語の展示資料の日本語訳を手伝いました。朝から夕方まで予定が詰まっていて、さらに時差の影響もあり体力的には厳しかったですが、戦争の記録を伝えるアメリカの博物館に携わる機会を得ることができて貴重な経験となりました。

展示内容はとても中立的で、アメリカだけではなく日本の歴史についても紹介しているのが印象的でした。また戦争という難しいテーマを扱っているながらスタッフの方々が明るい雰囲気、訪れた観光客も談笑していたり、広大な敷地内で散歩をしている人もいました。ゼミ活動では韓国や沖縄を訪れて、戦争に関する博物館も見学しましたが、それぞれの国によって歴史観や展示内容が異なっていてとても興味深く感じます。現地では英語の会話力不足を感じてもどかしい思いをしたので、もっと英語を駆使できるよう、勉強に励みたいです。

期間：約2週間、宿泊先：ハワイ大学内の学生寮、奨学金：多文化社会学部奨励金（5万円）、支出：約10万円



インターンシップ先である、パールハーバーナショナルメモリアルにて、現地スタッフとの記念撮影しました。

中長期留学

※2020年度は新型コロナウイルスの影響で実施されませんでした。

中長期留学は、語学力の向上にとどまらず、学部で学んだ専門知識を土台として、留学先においてさらに専門性を深めることを目的としています。大学間の学術交流協定に基づく交換留学として実施されるため、学生は長崎大学に学費を納入し、長崎大学に在学したまま半年から1年間留学することになります。

- ・留学するためには、定められた時期までに語学力及び学業成績に関する一定の学部内要件を満たすとともに、学内選考に合格することが必要です。
- ・「オランダ特別コース」の学生は、1年間のオランダ留学が必須となります。その他のコースの学生にも中長期留学を強く推奨します。
- ・留学先で取得した単位は、授業内容・レベル・形態の観点から精査し、長崎大学で開講している科目の単位として認定します。そのため、中長期留学に参加した場合でも4年間で卒業することも可能です。

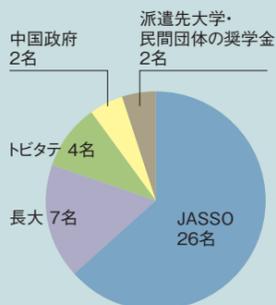
留学奨学金

長崎大学では、中長期留学に係る費用の一部を支援することを目的として、海外留学奨学金制度を整備しています(受給できる人数には限りがあります。また、予算の都合により今後変更される場合があります)。また、様々な外部団体の奨学金制度を活用できるように支援しています。

なお、奨学金を受給するには、学業成績や家計基準など一定の基準を満たす必要があります。

- ◎日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度(協定派遣)(給付型)
最大12ヶ月間、月額6~10万円(留学地域により異なる)
- ◎長崎大学海外留学奨学金(給付型)
最大3ヶ月間、月額6~10万円(留学地域により異なる)
- ◎トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム(給付型)
単位取得を目的とした留学だけでなく、インターンシップやフィールドワークなど、自分で組み立てた留学計画を支援。奨学金(最大12ヶ月間、月額12~16万円(留学地域により異なる))、留学準備金、授業料などの支援あり。
- ◎中国政府奨学金(給付型)
中国政府が給付する、中国に留学する学生を対象とした奨学金。生活費の給付や学費の免除など手厚い支援がある。

2018/2019年 派遣学生(41名)の受給実績



- 【ノルウェー】
ノルウェー科学技術大学
- 【イギリス】
○アバディーン大学
○オックスフォード・ブルックス大学
○キール大学
○マンチェスター・メトロポリタン大学
- 【ドイツ】
○ゲオルク・ジモン・オーム大学ニルンベルク
○ハインリヒ・ハイネ大学
- 【オランダ】
○ライデン大学
○ラドバウト大学
- 【ベルギー】
○モンス大学
○ルーヴァン・カトリック大学
- 【フランス】
○アンジェ大学
○パリ東＝クレティユ大学
○ブルゴーニュ大学
- 【スペイン】
○セビリア大学
○マラガ大学
- 【イタリア】
○カ・フォスカリ大学
- 【ポルトガル】
○新リスボン大学

- 【インドネシア】
インドネシア大学
- 【タイ】
○カセサート大学
○チェンマイ大学
○チュロンコン大学
- 【ベトナム】
カントー大学
- 【フィリピン】
○アテネオ・デ・マニラ大学
○フィリピン大学ディリマン校
○フィリピン大学ピサヤ校
- 【マレーシア】
○テイラズ大学
- 【ブルネイ】
○ブルネイ・ダルサラーム大学

- 【中国】
○華東師範大学
○陝西師範大学
吉林大学
○山東大学
西北大学
○香港教育大学
○北京外国語大学
○上海師範大学
○上海外国語大学
天津師範大学
中国社会科学院大学
- 【台湾】
亞洲大学
国立政治大学
○国立台湾大学
国立台湾師範大学
国立高雄大学
成功大学
中国文化大学
- 【韓国】
亞洲大学校
東国大学校
○成均館大学校
○慶北大学校



海外協定先(令和3年5月1日)

長崎大学には世界各地に海外協定先があります。夢や目標を持って世界へと飛び出していく学生を支援するため、今後も、さらに海外協定先のネットワークを広げていきます。

※○はこれまで派遣実績がある協定校(令和3年5月1日)

- 【オーストラリア】
○ウェスタンシドニー大学
エディスコーワン大学
○サンシャインコースト大学
○ディーキン大学

留学サポート体制

多文化社会学部では留学相談室を設置し、留学に関する必要な情報を提供しています。留学先の決定や渡航手続き、履修科目の選択等、留学に関する疑問や不安は、海外経験が豊富な留学コーディネーターに相談することができます。

学生が海外留学に出発する前には、危機管理等に関するオリエンテーションを実施しています。留学中は、指導教員等が随時電子メール等で学生の修学・生活相談に応じるほか、留学先大学の担当者とも密に連絡を取り合い、学生の状況を把握するとともに、学部内での情報共有とトラブルへの対応に当たっています。

また、長崎大学は留学生危機管理サービス(OSSMA)への加入も推奨しています。



オリエンテーションの様子

- 【カナダ】
○ウィニペグ大学
○カルガリー大学
○ニューファンドランドメモリアル大学
○レスブリッジ大学
- 【アメリカ】
アーカンソー工科大学
○カリフォルニア州立大学モンテレーベイ校
北アリゾナ大学
○ノースイースタン・イリノイ大学
○ノーザン州立大学
○フロストバーグ州立大学
○ベネディクティン大学(イリノイ州)
○ペンシルベニア州立インディアナ大学
○モラヴィアン大学
- 【メキシコ】
西部工科大学

Visit our website for details



Message 中長期留学に参加した在学生からのメッセージ

国の枠を超えた深い関係を育む留学生生活

黒木 亮佐 3期生 宮崎県 出身

留学先: 台湾 / 国立台湾大学



私は大学生生活の中で多くの台湾人留学生と友だちになり、彼らの文化・言語を現地で学びたいという思いから台湾に留学することを決めました。留学先の台湾大学では政治学部に所属し、台湾における政治と女性の権利の関係性について学びました。また専門外の農業や体育といった授業への参加を通じて多くの現地学生と友人になり、中国語の力を飛躍的に伸ばすことができました。学業以外の面では学外のボクシング団体と学内のサッカー部に所属し、スポーツを通じてコミュニケーションをとることで、「日本人と台湾人」という枠を超えて多くの方と深い関係を築き上げることが出来ました。台湾留学の中で経験した台湾大統領選挙を通じて台湾人の政治意識の高さに驚く一方、私を含めた日本国民の自国に対する政治意識の低さを改めて感じました。今後はより一層自国の政治に関心をもちながら過ごしていこうと思います。

履修科目: 3科目、住居: 学生寮、奨学金: JASSO(6万円/月)、支出: 約4万円/月

アカデミックな語学力を活かした異文化交流

原 迅哉 4年 福岡県 出身

留学先: オランダ / ライデン大学



オランダ特別コースのカリキュラムの一環で、ライデン大学への長期留学に参加しました。現地ではオランダ語のほか、オランダの文化や歴史、現代社会、言語学について学び、積極的に発表やディスカッションにも参加しました。留学前の普段の講義から、英語のアカデミックなレポートを書く訓練を繰り返していたので、レベルの高いライデン大学の講義にもスムーズに対応することができました。

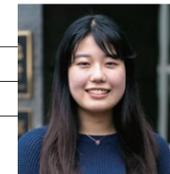
ライデン大学の周辺は学生街で、いろんな国から異なる専門分野の留学生が集まります。学生寮では食事をしながら語り合うのが日常茶飯事で、自分の知識も視野も大きく広がったと感じています。また日本語学科に所属するオランダ人と一緒に過ごす時間もおり、オランダ語や英語の語学力向上に繋がりました。卒業後はグローバルな事業を展開する企業に就職して、語学力はもちろん、留学を通して身につけた多角的な視野を活かして活躍したいと考えています。

履修科目: 13科目、住居: 学生寮、奨学金: JASSO(8万円/月)・Holland Scholarship(約60万円)、支出: 約7万円/月

海外の講義と日本の生活をオンラインで両立

羽嶋 更紗 3年 鹿児島県 出身

留学先: 中国 / 北京言語大学



中国の大学で中国語や言語学を学ぶ予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で渡航ができず、日本からオンラインで現地の講義に参加する形となりました。講義はリアルタイムとオンデマンド方式で、自宅のパソコンから受講。最初は手探りな部分もありましたが、講義内容もオンラインに合わせてどんどん改善され、発表やプレゼン、質疑応答の時間も充実しています。また教員や留学生同士でグループチャットを活用することで、フレンドリーに意見を交わすことができました。

オンライン留学ならではの利点として、留学に合わせて生活を大きく変える必要がなく、アルバイトや就職活動も並行して続けることができます。在宅時間は長くなるので、早寝早起きながら正しい生活リズムを心がけています。もちろん現地に留学したい気持ちもありますが、それは一緒に学ぶ他の留学生も同じなので、みんなで励まし合いながら日々勉強に集中しています。

履修科目: 6科目、住居: 自宅、奨学金: 中国政府奨学金(授業料全額分)

Weekly schedule

前期	月	火	水	木	金	後期	月	火	水	木	金
1限 (9:30-11:20)	総合中国語	総合中国語	中国文化		総合中国語	1限 (9:30-11:20)		総合中国語		総合中国語	総合中国語
2限 (11:40-13:30)	リスニングとスピーキング			リスニングとスピーキング		2限 (11:40-13:30)					中国語分析
3限 (14:30-16:00)						3限 (14:30-16:00)		リスニングとスピーキング		リスニングとスピーキング	

※総合中国語・4技能(読む、書く、聞く、話す)の内容をします。

※空いている時間には課題や予習を中心に、週に3,4回アルバイトをしています。

キャリア教育 Career education

国内マーケットの縮小に伴い、企業の多くは海外進出に力を入れています。なかでも国民の平均年齢が若く、経済発展が見込まれる東南アジアやアフリカは注目されています。グローバル時代のキャリア形成について、社会や企業の最前線の動きをにらみ、1年次からじっくりと考えていきます。

1年次

グローバル
キャリア入門

日本企業と外資系企業における「働き方」の違いについて、人的資源管理の面から理解します。また、大学4年間の過ごし方についてもデザインしていきます。

3年次

キャリア形成論

卒業後のキャリアを考え、実践的な準備をします。企業や自己の分析、学部での学びをもとに、社会でどのように活躍していくかを考えます。授業のなかでは、企業で働いているかたなどをお招きして、お話を聞くこともあります。

自主企画 インターンシップ

学生が自分で企画したインターンシップの活動を、事前学習、事後学習も含めて、単位として認めるものです。短期、中長期の留学や海外フィールドワークとともに、海外インターンシップも推奨しています。ミャンマー、ラオス、カンボジア、フィリピン(セブ)、ハワイなどの日本語学校、戦争博物館、空港、ホテルで就業経験を積みながら、異文化コミュニケーションを実践します。

卒業生(1期生～4期生)の就職実績

■ 主な就職先

【製造業】

いすゞ自動車、九州電力、小森コーポレーション、NEC、サンスター、高砂香料工業、古河電気工業、住友電装、ゼンリン、大日本印刷、高砂香料工業、トヨタ自動車九州、東芝、東京計器、日本軽金属、平田機工、フジクラ

【卸売業、小売業】

双日、双日九州、日鉄住金物産、日鉄物産、日通商事、三菱電機住環境システムズ、古河産業、JR九州リテール、東京書籍販売

【サービス業】

ANA、JAL、スターフライヤー、ソラシドエア、ANA福岡空港、長崎空港ビルディング、星野リゾート、HIS、西鉄旅行、博多座

【公務・外郭・教育】

国税専門官、日本年金機構、日本貿易振興機構(JETRO)、労働基準監督署、中小企業基盤整備機構、水資源機構、日本学生支援機構、沖縄振興開発金融公庫、広州日本領事館、熊本県庁、大分県庁、長崎市役所、沖縄市役所、長崎大学、長崎商工会議所、学校教員(英語)

【情報通信業】

ヤフー、楽天、NTTビジネスソリューションズ、NTTデータシステムズ、両備システムズ、USEN、東京コンサルティングファーム

【運輸業、物流】

三菱倉庫、山九、商船三井ロジスティクス、西日本鉄道(国際物流事業)

【金融業】

AIG、三井住友海上火災保険株式会社、りそな銀行、福岡銀行、福岡中央銀行、十八銀行、親和銀行、肥後銀行、鹿児島銀行、琉球銀行、九州労働金庫

【建設・不動産業】

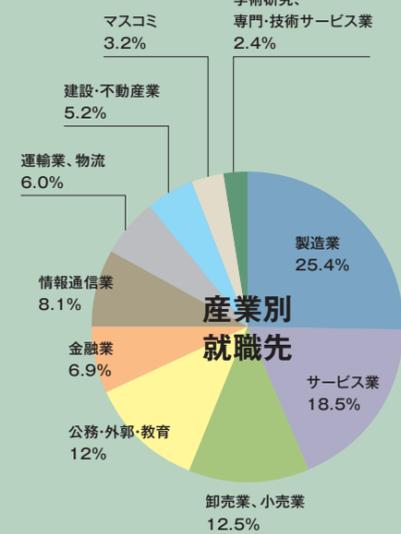
三菱電機プラントエンジニアリング、オープンハウス

【マスコミ】

NHK、フジテレビ、NBC長崎放送、岐阜放送、西日本新聞、長崎新聞、神戸新聞、琉球新報

■ その他進学先

中央民族大学民族学与社会学学院(中国)、東京大学大学院、京都大学大学院、大阪大学大学院、一橋大学大学院、九州大学大学院、広島大学大学院、関西学院大学大学院、長崎大学大学院、青山学院大学大学院



〈2020年度卒業生〉
就職希望者の就職率

100%

Messages from Graduates



入江 和祈 4期生

日本放送協会(NHK) 就職
共生文化コース

深い洞察で平和と向き合う報道記者に

私は、報道記者としてNHK岡山放送局で勤務しています。事件や事故から地域の行事まで、地元に着いた情報を幅広く扱っています。

私が、多文化社会学部に入学を決めたのは、大学で宗教学を学びたいと思ったからです。英語をはじめとした語学は苦手でしたが、宗教や思想について学ぶことで物事を深く考える力が身についたと思います。宗教に起因する戦争や紛争がなぜ起きるのか、そもそも宗教とはいったい何なのかなど、社会や人間にとっての根源的な問いに自分なりに向き合う貴重な機会となりました。

大学以外での学びもたくさんありました。2年生からは、核問題に関する講義をきっかけに平和活動にも参加するようになりました。特に、小中高生に戦争の歴史や核兵器について出前講義をする団体に属していましたが、そこで「伝える」難しさを実感したことが、記者を目指すきっかけにもなりました。

記者の仕事には、情報の取り扱いだけでなく、その背後にある社会への深い洞察やそこに生きる人々への繊細な共感が求められます。そこに大学時代の学びや経験が生かされていることを実感しつつ、日々取材に励んでいます。



神谷 怜 3期生

一般社団法人国際交流サービス協会 就職
社会動態コース

文化への理解を活かして日本と中国を繋ぐ

私は在外公館の派遣員として、中国の広州にある日本国総領事館で勤務しています。仕事内容は主に事務作業で、パスポート関連や証明書の手続き、ホームページ等での邦人向けの情報発信などを担当しています。最初は現地の制度や手続き方法を覚えるのに苦労しましたが、何度も繰り返す中でスムーズに作業できるようになりました。最近では、新型コロナウイルス対策に関する相談も増えています。

もともと英語に興味があって多文化社会学部に入学しましたが、第二外国語で選択した中国語の勉強が楽しくて、短期留学と中長期留学で中国に滞在しました。西安と上海という異なる地域での留学生活を通して、同じ国でも全く違う文化や歴史があることを実感しました。また講義の中では学生同士がテーマに沿って議論する機会が多く、いろんな考え方を知ることができたのが印象的です。

在外公館の派遣員は、2年間と期間が決まっています。終了後は中国語の語学力や文化への理解を活かした仕事にチャレンジしたいです。また、現在暮らす広州市と生まれ育った福岡市は古くから友好都市の関係にあるので、何かしら両方の都市を繋げるような役割を果たせればと思います。



山本 春 3期生

長崎県公立高校 就職
共生文化コース
※現在は言語コミュニケーションコース
のみ、高等学校教諭一種免許状(英語)
が取得可能

英語で積極的に話したくなる雰囲気

在学中に英語の教員免許を取得して、長崎県内の高校で勤務しています。学生の希望する進路によって英語に対する意欲は様々ですが、授業の進め方や教え方を工夫して、英語の面白さを伝えられるよう試行錯誤しています。また人前で発表することが恥ずかしい学生も多いので、普段からチャレンジする姿勢を積極的に評価して、失敗しても大丈夫だと安心できる授業の雰囲気を大切にしています。

教育学部という選択肢もありましたが、充実した留学制度や様々な文化を学べる講義に興味があり、多文化社会学部を選びました。実際にカナダとオーストラリアへの留学を通して、国や地域ごとの発音の違いや、自分の気持ちを言葉で相手に伝えることの大切さを感じました。また学外活動として、日本に滞在する外国人の方に英語で日本語を教えるボランティア活動にも参加しました。年代も国もバラバラの相手に教える中で、言葉を通してお互いの距離が縮まったり、文化を深く理解する様子を目の当たりにして、教員という仕事に対する気持ちが強くなりました。今後は授業の中で、気持ちを英語で伝えたり、英語を通して学生自身の考えを見つめ直す機会を増やしていきたいです。

Visit our website
for details



多様な知識と経験を持つ教員との出会いも 多文化社会学部の大きな魅力

多文化社会学部には、海外の様々な文化に通じる日本人の教員と外国籍もしくは外国出身の教員が在籍しています。様々な現場で実務経験のある教員も多く情報に奥行きがあり、実践的な知識が詰まった講義が展開されます。これから多文化社会へと羽ばたいていく皆さんにとって多様なバックボーンを持つ教員たちとの出会いはかけがえのない学びの機会となることでしょう。

※ []内は教員の主な開講科目名です。 ※科目名は変更となる可能性があります。 ※教員情報は、令和3年4月1日現在のものです。



教授
木村 直樹
KIMURA, Naoki
【地域史料論】

日本近世政治・外交史(対外関係史)について、長崎を起点に研究。島原の乱や、九州発近世屈指の大飢饉である寛永飢饉についても研究。



教授
才津 祐美子
SAITSU, Yumiko
【文化資源論】

専門は民俗学、文化人類学。近現代の日本における地域文化の表象・継承・活用のあり方について、文化遺産保全を中心に研究。



教授
滝澤 克彦
TAKIZAWA, Katsuhiko
【宗教文化論】

専門は宗教学、モンゴル研究。現代モンゴル国のキリスト教流行現象や、東日本大震災後の祭礼復興などを対象として、社会と宗教の動的関係について研究。



教授
西原 俊明
NISHIHARA, Toshiaki
【コーパス言語学】

専門は、言語学、英語学、応用言語学。英語を中心に、言語に見られる普遍性・個性についてコーパスを用いて研究。



准教授
コンペル ラドミール
COMPEL, Radomir
【比較政治学】

専門は政治学。各国の政治について、体制、組織、政策、住民との関係および歴史的な背景を踏まえ、共通点及び相違点を研究。



准教授
賽漢卓娜
SAIHANJUNA
【異文化と家族】

専門は家族社会学、移民研究、ジェンダー研究。アジアにおける国際と国内の移動現象について質的研究。移動者を主体的に捉え、その目線を重視。



准教授
白井 章詞
SHIRAI, Shoji
【キャリア形成論】

大学におけるキャリア教育について、教育効果と問題点を調査・研究。若者の職業能力の開発に資する教育プログラムの開発と実践にも取り組む。



准教授
谷川 晋一
TANIGAWA, Shin-ichi
【対照言語学(日英)】

英語学、言語学、文法論が専門。英語と日本語を中心とした文法、特に語順の変化が意味解釈にどのような影響を与え、なぜそのような影響が生じるかという点に焦点を当てた研究。



教授
野上 建紀
NOGAMI, Takenori
【陶磁考古学】

専門は考古学。陶磁器を生産した窯、運んでいた船、消費していた都市の遺跡を調べて、「陶磁の道」とも呼ばれる「海のシルクロード」を研究。



教授
葉柳 和則
HAYANAGI, Kazunori
【文化表象論】

専門は文化社会学。主テーマとして多言語国家スイスのナショナル・アイデンティティ、副テーマとして近現代長崎の都市イメージを取り上げ、表象の政治という視点から研究。



教授
広瀬 訓
HIROSE, Satoshi
【国際機構論】

専門は国際機構論、軍縮、安全保障論。核軍縮交渉のプロセス、特に核不拡散条約(NPT)を中心とした多国間交渉における、人権の確保を保証するための法的枠組みの可能性を研究。



教授
門司 和彦
MOJI, Kazuhiko
【グローバルヘルス】

専門は人類生態学。環境と健康の関連を一体として捉えるエコヘルスの視点にたつて、集団の健康と生存についての人類生態学的研究をアジアやアフリカの調査地で研究。



准教授
原田 走一郎
HARADA, Souichirou
【日本語学】

日本語・琉球諸語の方言を研究。主に九州、沖縄県八重山のことばを対象に、それらが世界の言語のなかでどのような特徴を持つかを考察。



准教授
細田 尚美
HOSODA, Naomi
【文化人類学(移民)】

専門は、文化人類学、東南アジア地域研究、移民研究。主にアジアや中東に出稼ぎ中のフィリピン人についての現地調査を通じて、世界情勢や各国の移民政策と、彼らのコミュニティやアイデンティティの変遷との関連を研究。



准教授
増田 研
MASUDA, Ken
【現代アフリカ社会論】

専門は社会人類学。アフリカ、アジア、日本の各地で社会の成り立ちと歴史を追いかけています。近年は、開発途上国における保健と高齢化の問題に取り組む。



准教授
南 誠
MINAMI, Makoto
【トランスナショナルリティ論】

専門は歴史社会学、国際社会学。中国帰国者の調査や、満洲の歴史と記憶の国際比較を手がかりに、近代東アジアにおける境界文化の生成と消解について研究。



教授
森川 裕二
MORIKAWA, Yuji
【国際政治学】

国際政治の仕組みが、一体化する世界の中でどのように変化しているのか、国際政治の理論的な基礎を歴史的な背景や現実の社会の動きに照らして研究。



教授
楊 曉安
YANG, Xiaoran
【対照言語学(日中)】

専門は応用言語学、実験音声学。実験音声学の手法を用いて、音声分析ソフトによる音声分析を通して、中日両言語の音声構造と文法・語義の関係について研究。



教授
王 維
WANG, Wei
【異文化交流論】

長崎をはじめ、世界各地におけるチャイナタウン及び華人系社会・文化及び上位社会との交流史、音楽受容史、異文化観光について研究。



准教授
岩本 佳子
IWAMOTO, Keiko
【グローバル文化交流史】

13世紀から20世紀まで、現在の中東、北アフリカ、南東欧ヨーロッパを支配し、グローバルな文化交流の促進に貢献したオスマン朝の歴史を、古文書記録に登場する遊牧民に焦点をあてて研究。



准教授
森 元斎
MORI, Motonao
【思想史】

専門は、哲学・思想史・文化研究。現代哲学の著作・論文を読解するとともに、そこに潜む人間・社会・自然の問題を分析・研究。



助教
小島 卓也
KOJIMA, Takuya
【日本語指導法】

専門は日本語教育学、外国語教授法、応用言語学。実践コミュニティの理論を用い言語学習者が人と社会とつながる学習環境デザインとその効果、難しさ、意義について研究。アートを取り入れた言語教育の研究にも取り組む。



助教
佐藤 美穂
SATO, Miho
【グローバルヘルス】

専門は保健システム研究。質的手法を用いて主にアフリカにおいて人々の健康希求行動や保健医療従事者の動機付けを研究する一方、保健プロジェクトに短期専門家として参画。



助教
トート ルディ
TOET, Rudy
【日本語学基礎B】

専門は言語学で、日本語の文法を研究。現在は態(ヴォイス)、取り分け動態(スル型動詞)と受動態(サレル型動詞)の使い分けを文法理論と統計学の両観点から考察。



准教授
カトローニ ピノ
CUTRONE, Pino
【異文化間コミュニケーション】

専門は、異文化語用論、応用言語学/TESOL、社会言語学、談話分析。日本におけるEFL(外国語としての英語)の教授法を研究。



准教授
河村 有教
KAWAMURA, Arinori
【国際人権論】

専門はアジア・アフリカ法、刑法。人権侵害、ジェンダー問題、核兵器廃絶・禁止含む平和の構築維持について探究。刑事手続、ハラスメントいじめ調査、懲戒処分手続、CDR等手続きについてのルールのある方も研究。



准教授
ギュルベヤズ アブドゥルラッハマン
GUELBEYAZ, Abdurrahman
【メディア・スタディーズ】

専門は、言語学、社会学、記号論、言語社会学、音楽学。言語や同種の記号制度と、社会性、すなわち人間性との相互関係の諸相を研究。



准教授
小松 悟
KOMATSU, Satoru
【開発経済学】

専門は開発経済学、環境経済学。アジアの途上国を対象として、国の経済開発と環境改善を両立させながら、持続可能な発展のためにはどのような政策が望ましいかを分析。



助教
ヌルガリエヴァ リヤイリヤ
NURGALIYEVA, Lyailya
【Understanding Japanese Culture and Society】

専門は国際関係、中央アジア研究であり、研究分野は、ソ連の崩壊後のカザフスタンの外交政策。その中でも、カザフスタンと日本、中国、ロシア又はEUとの関係に注目。



助教
山下 龍
YAMASHITA, Noboru
【日蘭比較文化】

①日本人を対象としたオランダ語教育、②日本人を対象とした英語教育、③日欧比較文化の研究(現在は主に日本茶道文化史の研究)、④日蘭交流史(現在は主に出兵と医学の研究)

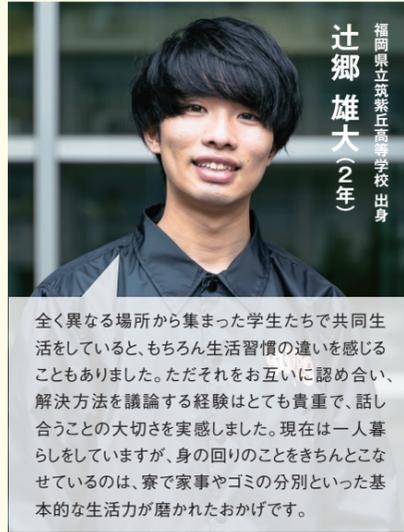
Visit our website for details

互いを知り

絆を深める寮生活

国際学寮ホルテンシア

希望者は、入学して1年間は寮に入り、1ユニット4人(外国人留学生1人~2人を含む。)のルームシェア形式で共同生活を送ります。様々な文化的背景を持つ同士が、日常をともにすることで深い絆も生まれます。昨年度の入寮者2人に寮生活を振り返ってもらいました。



福岡県立筑紫丘高等学校出身
辻郷 雄大(2年)

全く異なる場所から集まった学生たちで共同生活をしていると、もちろん生活習慣の違いを感じることもありましたが、ただそれをお互いに認め合い、解決方法を議論する経験はとても貴重で、話し合うことの大切さを実感しました。現在は一人暮らしをしていますが、身の回りのことをきちんとこなせているのは、寮で家事やゴミの分別といった基本的な生活力が磨かれたおかげです。



鎮西学院高等学校出身
榎本 萌(2年)

様々な地域から寮に集まった学生と毎日一緒に過ごす中で、異なる文化や生活習慣を体感することができました。それは留学生だけではなく日本人同士でも同様で、地域による方言から食文化まで新鮮なことばかりで刺激的でした。また寮長として学生の意見をまとめて先生方とやりとりする機会も多く、人と人を繋ぐ上で大切なコミュニケーション能力が身に付いたと感じています。

国際学寮ホルテンシア

- 【所在地】長崎市内(大学まで徒歩12分程度)
- 【収容人数】135人(A棟72人・B棟63人)1ユニット4人(外国人留学生1人を含む。)のルームシェア形式(ただし、1ユニットのみ車椅子対応の3人のルームシェア)※入学者の状況によっては、外国人留学生とのルームシェアとならない場合があります。
- 【入居費用】寄宿料25,000円/月、共益費2,500円/月(ただし、水道・ガス代を除く。)※月額が改定される可能性があります。寄宿料等は原則半期(6カ月)ごとに4月及び10月に徴収します。また、入居時に借家人賠償責任保険等の加入、退去時のクリーニング費用として、10,000円が必要です。
- 【施設】集会室、駐輪場
- 【設備】(個室)エアコン、光回線インターネット、TV端子、照明、机、椅子、ベッド、電気スタンド
- 【セキュリティ対策】カードキー対応玄関ドア、暗証番号対応個室ドア
- 【共有スペース】シャワーブース、システムキッチン、ダイニングセット(テーブル、椅子)、冷蔵庫、電子オーブンレンジ、全自動洗濯機、衣類乾燥機等
- 【食事】食事の提供はありません。共同キッチンで自炊することができます。※入学者の状況によっては、外国人留学生とのルームシェアとならない場合があります。



リビング・キッチン(共有スペース)。みんなで食事をとりながら団らんです。



個室。鍵もかけられるので、個人のプライバシーも確保されています。



集会室。プロジェクターが完備されていて、プレゼンの練習や勉強会もできます。



中庭。もちつき大会などのイベントを通して留学生や地域の方と交流します(写真は消防訓練)。

CHODAI(長大) LIFE 勉強はもちろんサークル活動や学内・地域イベントにも参加してキャンパスライフをより充実したものにしましょう。

4 April 入学式 新入生オリエンテーション 前期授業開始 新入生研修	5 May 開学記念日	6 June あじさいまつり	7 July オープンキャンパス 前期授業終了 前期定期試験	8 August 夏季休業	9 September 短期留学 海外インターンシップ フィールドワーク実習(海外/国内)	10 October 後期授業開始	11 November 学園祭	12 December 冬季休業	1 January 新春もちつき大会	2 February 後期授業終了 後期定期試験 卒業論文発表会	3 March 短期留学 海外インターンシップ 春季休業 卒業式
入学式	長崎ハタ揚げ大会 稲佐山つつじまつり	あじさいまつり	ながさきみなとまつり 長崎ベーロン選手権大会 祇園祭	長崎夜市 原爆の日 精霊流し	中国盆 長崎居留地まつり 孔子祭	長崎中華街中秋節 長崎くんち YOSAKOIさせば祭り	丸山華まつり		のもさき水仙まつり	ランタンフェスティバル	

写真提供：©(一社)長崎県観光連盟

学生生活紹介(榎本さんの1年次前期の1週間)

Weekly schedule 1年次前期の1週間の時間割

	月	火	水	木	金	土	日
1校時(8:50~10:20)	キャリア入門	英語 コミュニケーションI		グローバル キャリア入門	国際公共政策 入門(政治)	勉強・休養・ アルバイト等	
2校時(10:30~12:00)	自習		総合英語	Reading and Writing I	多文化社会学の 諸問題II(人文)		
3校時(12:50~14:20)		中国語		多文化社会学の 諸問題I(社会)	自習		
4校時(14:30~16:00)	情報基礎	長崎地域学	英語カフェ		Study Abroad and Presentation		
5校時(16:10~17:40)		初年次セミナー					
放課後					アルバイト		



Student's Voice 学生の活動

難民問題を身近に伝える 映画上映イベントを開催

三田 万理子 4年
社会動態コース
筑紫女学園高等学校出身

難民問題を中心とした社会問題の認知啓発活動に取り組む学生団体「STARS」を立ち上げました。高校生の頃から難民問題に興味があって多文化社会学部に入り、講義の中で、国連UNHCR協会が毎年開催している難民映画祭というイベントを大学でも開催できることを知り、自分たちもできないかと考えました。そこで全国の学生団体とも連携し、難民問題をテーマにした映画を上映するWILL2LIVE映画上映会をオンラインで開催。県内外から100名以上が参加して、上映後には難民問題に詳しい先生のトークセッションも行いました。難民問題と聞いても、なかなか実感の湧かない人が多いと思います。そこで映画という親しみやすい切り口で伝えることで、少しでも身近に感じてほしいと思います。今後も音楽や食、スポーツなど、様々な切り口で難民問題を伝えていきたいです。またイベントを通して、自分から声を出せば場所に関係なく周りを巻き込むことができると感じました。今後も学部や大学の壁を超えて、たくさんの学生が参加したくなる活動をしていきたいです。

文化や考えの異なる相手と意見を交わすことの大切さ

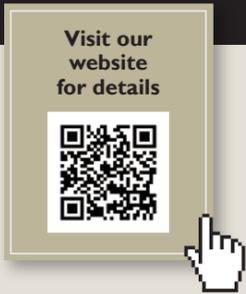
高見すなお 4年
国際公共政策コース
栃木県立大田原女子高等学校出身

せっかく長崎の大学に来たなら特別な経験をしたいという気持ちで、核兵器廃絶長崎連絡協議会が主催する「ナガサキ・ユース代表団」のメンバーとなり、核軍縮・不拡散問題に関する国際会議に参加しました。事前学習では、核兵器に関する知識や世界の動向を学び、被爆者の方から直接お話を伺う機会にも恵まれました。私は福島原発事故の影響で一時避難した経験があり、核問題はとても身近な自分事として認識しています。苦労したのは、会議で発表するプレゼンテーション内容の話し合いでした。同じ核軍縮というテーマでも、メンバーによって捉え方や視点が異なり、お互い何度も言葉を交わして歩み寄りしました。国際会議では各国代表の方と交流を深め、帰国後は報告会や、小中学校での講演活動を実施。国際会議での経験や自分の考えを人に伝える中で、核兵器を含めたいろんな事柄に関する自分自身の認識を見つめ直すことができました。そして異なる考えを持つ相手と意見を交わすこと、その違いを認めながら理解することの大切さを実感しました。

令和4年度(2022年度)入試情報

求める学生像

- 専門科目の学修の基盤となる高等学校卒業程度の基礎的・基本的知識を有している。
- 英語を主とする外国語の運用能力の基礎が充実している。
- 世界規模の多種多様な考え方や価値観を尊重しつつ、それらについて批判的に思考できる基礎を有する。
- 世界の多文化状況を客観的に捉え、見出された課題の解決に向けて論理的に思考できる基礎を有する。
- 自らの考えを整理し、表現するライティング能力(文章力)を有する。
- 多様な人々と共生的な関係を築き、協働する為に必要なコミュニケーション能力・自己表現力の基礎を有する。
- 世界の多文化状況や異文化交流に興味・関心を持ち、グローバルな視点で自ら学ぼうとする意欲がある。



入学者選抜の基本方針

多文化社会学部の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎的・基本的知識と教育課程を通して育成される、論理的批判的思考力・判断力・表現力を評価します。また、入学後のカリキュラムを考慮して、選抜にあたっては英語を主とした外国語の運用能力と、多文化状況や異文化への興味・関心、学ぶことへの意欲も重視します。

募集人員

学部	学科等	入学定員	募集人員						
			一般選抜(分離・分割方式)		総合型選抜I		帰国生徒 選抜	外国人留学生 選抜	合計
			前期日程	後期日程	一般枠	グローバル・ 国際バカロレア枠			
多文化社会学部	国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース オランダ特別コース	100	68	10	8	4	若干人	若干人	90
	計	100	75	10	10	5	若干人	若干人	100

一般選抜 ※詳細は、11月下旬頃発表予定の「令和4年度一般選抜学生募集要項」をご覧ください。

学力検査等の区分・日程	コース名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		2段階選抜	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
		教科	科目名等	教科等	科目名等		試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	面接又は ペーパー・ インタビュー	調査書	配点合計
【前期】 2月25日 (金)	国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース	国	国 世B/日B/地理B から1科目(注1)	外	コミュニケーション英語I・ コミュニケーション英語II・ コミュニケーション英語III・ 英語表現I・英語表現II	【前期】 以下のA・Bのうち、いずれかを満たす者を第1段階選抜の合格者とする。 A:大学入学共通テストの外国語の得点率が75%以上の者(注3) B:TOEFL iBT(Home EditionとSpecial Home Editionを含む)61点以上、TOEIC L&R 730点以上、TOEIC L&R+TOEIC S&W 1000点以上、実用英語技能検定(英検、英検CBT又は英検S-CBT)準1級以上、IELTS 5.5以上、GTEC(4技能版)1140点以上又はTEAP 334点以上のいずれかのスコア・級を有する者(注4)	共通テスト	100	*50		*50	200						400
	オランダ特別コース	公民	現社/倫/政経/倫・政経 から1科目(注1)	その他	批判的・論理的思考力テスト(総合問題)調査書		個別学力検査等					100	230				30	360
【後期】 3月12日 (土)	国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース	数	数I/数I・数A/数II/数II・数B 数学から1科目又は理科の①、②のいずれか(注2)	外	コミュニケーション英語I・ コミュニケーション英語II・ コミュニケーション英語III・ 英語表現I・英語表現II	【後期】 以下のA・Bのうち、いずれかを満たす者を第1段階選抜の合格者とする。 A:大学入学共通テストの外国語の得点率が80%以上の者(注3) B:TOEFL iBT(Home EditionとSpecial Home Editionを含む)61点以上、TOEIC L&R 730点以上、TOEIC L&R+TOEIC S&W 1000点以上、実用英語技能検定(英検、英検CBT、英検S-CBT)準1級以上、IELTS 5.5以上、GTEC(4技能版)1140点以上又はTEAP 334点以上のいずれかのスコア・級を有する者(注4)	共通テスト	100	*50		*50	200						400
	オランダ特別コース	理	①物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎から2科目 ②物理/化学/生物/地学から1科目	その他	批判的・論理的思考力テスト(総合問題)調査書面接		個別学力検査等					100	230		30 (面接)	30	390	
		外	英/独/仏/中/韓から1科目				共通テスト	100	*50		*50	300	230				30	760
		国	国 世B/日B/地理B から1科目(注1)	その他	小論文 調査書 ペーパー・インタビュー		共通テスト	100	*100			200						400
		地歴 公民 外	現社/倫/政経/倫・政経 英/独/仏/中/韓から1科目				個別学力検査等						250	30 (ペーパー・ インタビュー)	30	30	310	
							計	100	*100			200	250	30	30	30	710	
			実施しない				実施しない											

(注1)地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。(注2)数学及び理科を学部が指定している科目数より多く受験している場合は、高得点科目を採用する。ただし、理科については第2解答科目は採用しない。(注3)大学入試センターが発表する大学入学共通テスト(本試験)平均点(中間集計)における英語の平均点(リーディングとリスニングの平均点を、長崎大学が指定する得点比率(リーディング160点、リスニング40点の4:1の得点比率)に応じて200点満点に換算)を考慮して、得点率を見直す可能性がある。なお、得点率の有無及び見直し後の得点率は、令和4年1月21日頃に長崎大学ホームページ(入試情報サイト)で発表する。(注4)外国語検定試験は、令和2年1月以降に受験した試験に限る。ただし、実用英語技能検定(英検)については、二次試験を令和2年1月以降に受験した試験とする。また、公式スコア(TOEFL iBT はTest Date スコアに限る。)を対象とし、TOEFL ITP及びTOEIC IP は対象としない。

総合型選抜I ※詳細については、7月上旬頃発表予定の「令和4年度総合型選抜学生募集要項」をご覧ください。

試験日 **令和3年10月16日(土)**
 第2次選考日
 選抜方法等 自己推薦書、諸活動の記録、調査書等、個人面接及び筆記試験の結果を総合して合格者を決定します。

一般枠の出願には、TOEFL iBT(Home EditionとSpecial Home Editionを含む)61点以上、TOEFL ITP 500点以上、TOEIC L&R 730点以上、TOEIC L&R+TOEIC S&W 1000点以上、実用英語技能検定(英検、英検CBT又は英検S-CBT)準1級以上、IELTS 5.5以上、GTEC(4技能版)1140点以上、又はTEAP 334点以上のいずれかのスコア・級を必要とする。
 (注1)外国語検定試験は、令和元年9月以降に受験した試験に限る。ただし、実用英語技能検定(英検)については、二次試験を令和元年9月以降に受験した試験とする。(注2)外国語検定試験(TOEFL ITPを除く。)は公式スコア(TOEFL iBT はTest Date スコアに限る。)を対象とし、TOEIC IPは対象としない。
 (注3)グローバル・国際バカロレア枠の出願要件については募集要項をご覧ください。

帰国生徒選抜 ※詳細については、9月上旬頃発表予定の「令和4年度帰国生徒選抜学生募集要項」をご覧ください。

試験日 **令和3年11月17日(水)**
 選抜方法等 提出された書類及び面接(日本語及び英語による)の成績の結果を総合して合格者を決定します。

出願には、TOEFL iBT(Home EditionとSpecial Home Editionを含む)75点以上、TOEIC L&R 750点以上、実用英語技能検定(英検、英検CBT又は英検S-CBT)準1級以上又はIELTS 6.0以上のいずれかのスコア・級を必要とする。
 (注1)外国語検定試験は、令和元年11月以降に受験した試験に限る。ただし、実用英語技能検定(英検)については、二次試験を令和元年11月以降に受験した試験とする。
 (注2)外国語検定試験は公式スコア(TOEFL iBT はTest Date スコアに限る。)を対象とし、TOEFL ITP及びTOEIC IPは対象としない。

外国人留学生選抜 ※詳細については、9月上旬頃発表予定の「令和4年度外国人留学生選抜学生募集要項」をご覧ください。

試験日 **令和3年11月17日(水)**
 選抜方法等 「TOEFL等の成績」、「日本留学試験(日本語、総合科目及び数学コース1)」、「面接(日本語及び英語による)」の得点を総合して合格者を決定します。

出願には、TOEFL iBT(Home EditionとSpecial Home Editionを含む)61点以上、TOEIC L&R 730点以上又はIELTS 5.5以上のいずれかのスコア・級を必要とする。
 (注1)外国語検定試験は、令和元年11月以降に受験した試験に限る。
 (注2)外国語検定試験は公式スコア(TOEFL iBT はTest Date スコアに限る。)を対象とし、TOEFL ITP及びTOEIC IPは対象としない。

批判的・論理的思考力テスト(総合問題)の導入

一般選抜(前期日程)の「批判的・論理的思考力テスト(総合問題)」では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎的・基本的知識と教育課程を通して育成される、批判的・論理的思考力を評価しています。
 グローバル化する社会でみなさんが直面する出来事や課題は、たとえ個人的な事項、ローカルな問題であろうとも、どこかでグローバルな要因とつながっています。そして、こうした出来事や課題の解決のためには、「唯一の正解」を見出すことができない場合がほとんどです。
 こうした「唯一の正解」のない問いに答えようとする上で重要となるのは、身につけた知識や技法を活用して、唯一の正解など存在しない出来事や課題に対してできる限り説得力のある解釈や解答を導き出す力です。
 批判的・論理的思考力テストでは、文章、グラフ、地図、表などを読み解き、そこから論を展開していくことになります。
 そのためには、以下のような力と知識を総動員することが必要となります。

- (1) 国語の授業で身に付ける読解力、思考力、文章力
- (2) 地歴・公民の授業で身に付ける歴史の流れ・因果関係
- (3) 「この地域はこんな地域」という地理的イメージ力
- (4) 現代社会の仕組みや他者に対する倫理
- (5) 数学や理科の学習を通して養われる数理的に物事を判断する力や論理的に推論する力

過去の入試問題及び出題例・解答例・採点の観点については、多文化社会学部ウェブサイトをご覧ください。

長崎大学多文化社会学部では過去の入試問題を公表しています。なお、著作権の関係で公表していない入試問題については、長崎大学窓口(入試課)での閲覧が可能です。詳細は、長崎大学入試情報サイトを

ご覧ください。

新型コロナウイルス感染症の状況によっては、試験実施日程、選抜方法などをやむを得ず変更する場合があります。変更する場合は、長崎大学入試情報サイトでお知らせいたしますので、ご留意願います。

新型コロナウイルス感染症の状況によっては、多文化社会学部で提供するカリキュラム・プログラムに変更の可能性があります。